

## 関西学院高等学部商科開設 100 周年 記念号の発刊に寄せて

商学研究科研究会委員長

加 納 慶 太

関西学院大学商学部は、本年、その前身である高等学部商科開設から数えて 100 周年を迎える。これを記念して商学研究科研究会として『商学研究』の記念号を発刊することとした。

関西学院には 1912 (明治 45) 年に商科と文科から成る高等学部が創設された。初代学部長は後に関西学院第 4 代院長に就任する C.J.L ベーツ先生である。ベーツ先生は 1915 (大正 4) 年に刊行された高等学部商科の機関誌『商光』の第 1 号に Our College Motto “Mastery for Service” という講演論説を掲載されている。この高等学部のモットーが後に関西学院全体のスクール・モットーとなり、現在に至っているのである。

『商光』は商科の学生組織である商科会によって、学生のための機関紙として発刊された。その後、学生による機関紙は名称を変えながら 1973 (昭和 48) 年に現在の『商学研究』として発刊された。創刊号には林良治先生、平松一夫先生、市川貢先生、松浦浩司先生、渡辺泉先生の 5 名の論文が掲載されている。その後も『商学研究』は先輩諸氏によって引き継がれ、今日まで多くの大学院生に研究成果を公表する場を提供してきた。

商科開設 100 周年という記念すべき年に、我々が『商学研究』に論文を公表できる機会を得たことは光栄である。これから先輩諸氏の伝統を引き継ぎ、“Mastery for Service” の精神を忘れることなく、一層の精進に励みたい。